

第3学年 美術科学習指導案

指導者 下松市立末武中学校 教諭 片山 善則

教材名

日本の伝統美を学ぼう 和柄のデザインをもとにポスターをつくろう

主 眼

教師が制作した参考作品を鑑賞し、色の組み合わせや配色の工夫についての表現の特徴を見つけ、作者の表現意図や工夫に思いを巡らせることができる。

自分の作品について、表現のねらいや意図を明確にして、それをよりよく伝えるための色の組み合わせや配色の工夫をすることができる。

評価規準及び評価方法

自分なりの視点をもってじっくり鑑賞することができる。

(鑑賞：観察・ワークシート)

友人の意見や考えに耳を傾け、感じ方や受け取り方には多様な見方があると同時に共通した部分があることを理解することができる。

(関心・意欲：観察・ワークシート)

意図や狙いを明確にし、それを明確に伝えるための工夫をすることができる。

(発想・構想：発表・ワークシート)

工夫点

6つのグループに分け、作品を鑑賞させる。その活動をとおして、友人の意見や考えに耳を傾け、感じ方や受け取り方には多様な見方があると同時に共通した部分があることを理解させることができる考えた。この共通した受け止め方が美を構成する要素や表現の技術につながっていくものであり、生徒たちに体感させたい基礎的な事項である。

話し合いの中では、「なんとなく」という言葉を用いないようにし、明度、彩度、バランス、レピテーションなど色や形に関する造形言語を用いるよう心がける。そのことによって、色の組み合わせを考えるときの曖昧さを少しでもなくすことができると考えるからである。

このような活動を通して作者の表現意図や工夫に思いを巡らせることで、自分の作品作りにおいても、ねらいや意図、効果について工夫することができるようになる。教師が制作した作品を用いているので、その場で制作のねらいや意図について明らかにすることができ、自分の受け止め方との違いや共通点を明らかにすることができる。また、表現の裏に隠されていたもの見て取るようとする意欲や態度、考えながら作品を鑑賞しようとする態度を養うことができる。

日本の美術の特徴のひとつに、抽象的な作品や簡略化された象徴化された形によって構成された作品があげられる。しかし一つ一つのモチーフは単純でも、その組み合わせは繊細である。それ故に制作における着彩の過程では、配色のセンスや面相筆を用いた高度な筆遣いの技術が要求される。しかも、生徒たちが目にするのは、職人技や匠の技がなせる作品が多い。「自分にはできそうにない」と思う生徒も多数いる。そこで、教師の制作した作品を見せることで、生々しい筆跡や技術的には荒さはあるが、がんばって描いたという作品にも出会わせ、身近な目標にしたい。

準 備

参考作品，ワークシート，

学習過程

	学習活動	予想される生徒の反応	教師の働きかけ 評価
課題の把握	1. 学習の進め方について理解する。 ・ グループ，班に分かれる。	・ 意欲をもって作品の細かなところまでみようとする。	・ 移動やグループ分けを速くさせ，活動の時間が多くとれるようにする。
	2. 教師が制作した参考作品を鑑賞する。	・ 地模様と配置模様のバランスや構成に着目する。 ・ 色の組み合わせや配色の効果に着目する。 ・ 色の塗り方や筆遣いに着目する。 ・ ワークシートに記入する。	・ 自分が制作しているものと比較しながら，制作の過程や技術など自分の体験をもとに考えさせる。 ・ 複数の目で見ている利点を生かし，着眼点の多様化を促す。自分なりの視点をもってじっくり鑑賞することができる。
課題の追究	色の組み合わせや配色の効果に着目をして，制作者の表現意図に迫ろう。		
	3. それぞれ別のグループに自分たちが鑑賞した作品について説明し，作品をイメージさせる。	・ 配色の意図や色の選び方について，その理由や意図について，自分なりの考えを発表し合う。 ・ 造形の用語を利用することである程度のイメージを共有できることを理解する。	・ 明度，彩度，色相，濁色などの造形の用語を積極的に使うよう促す。 ・ 日本の伝統色や各自が抱えている日本の色のイメージを話し合いの中で浮き彫りにさせ，再確認させる。 友人の意見や考えに耳を傾け，感じ方や受け取り方には多様な見方があると同時に共通した部分があることを理解することができる。
整理	自分の作品の配色計画を立てよう。		
	4. 自分の作品について配色の計画を立てる。	・ 話し合いの結果をもとに，自分の作品の配色計画を立てる。 ・ 見る人にどのように感じ取ってほしいのかという視点から表現を考える。	意図や狙いを明確にし，それを明確に伝えるための工夫をすることができる。 ・ 見る人の立場で考えてみるとこれまで気づかなかった配色や構成に気づくこともあることを理解させる。
	5. 学習のまとめをする。	・ ワークシートにまとめる。 ・ 次時の予告	